

2013年4月25日

日 EU EPA/FT の早期締結を求める共同声明

DIGITALEUROPE

一般社団法人電子情報技術産業協会

デジタルヨーロッパと JEITA は、双方のデジタルテクノロジー産業界を代表して野心的な日 EU EPA/FTA の交渉の開始を歓迎する。

我々は、EPA/FTA が確実に実施されることで経済的利益がもたらされ、強力で持続性のあるバランスのとれた成長が可能となり、雇用の創出に繋がることを改めて強調したい。デジタルインダストリー産業の市場をより一層活性化するためには交渉の早期妥結と実施が不可欠である。

デジタルテクノロジー分野において、EU と日本は長きに亘り良きパートナーとして友好的な協力関係を維持してきた。本協定は我々の協力関係をより強固なものとする機会となり、研究開発における協力の推進、イノベーションの促進ならびに事業の発展が期待される。我々は、経済連携は日本と EU の経済成長を生み出し、デジタルテクノロジー分野をより競争的で先進的な方向へと導き、全ての消費者に利益をもたらすものであると確信する。

さらには、EU と日本の間で制度や基準を調和し、デジタルテクノロジー製品の流通を簡素化し、国際ルールの形成を図ることにより、保護主義的政策、即ち、新興国の動きや近年増加傾向にある自国産業を優遇する制度や基準を策定する動きに対抗することが可能である。さらに、我々の共通の目標である規制協力の促進を図るべく、産業界対話を進めていきたい。

欧州と日本のデジタルテクノロジー分野の貿易投資・雇用・経済成長を拡大を図るべく、我々デジタルテクノロジー産業界は、意思決定者に対し、関税および非関税問題の解決を盛り込んだ野心的な EPA/FTA の早期合意を求めるものである。